

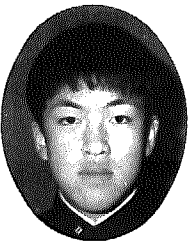
第六回県中学生人権作文コンクール優秀作品

「学校と人権」

黒中二年 秋山 尚幸

人権とは、生まれながらに人間が持っている、生命・自由・名誉などに関する権利、と僕の国語辞典に書いてあった。みんなが、これ位の事は知っていることだろう。しかし、知っているだけではどうにもならないものだと思う。

友人同志のふざけあい、これがで終ればまだいいだろう。これが発展脱線して人の気になっていること、触れてもらいたくない事をすばず刺し止めたらどうであろうか。人の家に土足であがったと同じことにならないだろうか。日頃あまり人権なんて気にしていないし、気にもとめていなかったが、人権の作文を書くことにより、改めて考えてみた。人権はお互いに守るべき大切なことであると思う。「人権は、みんなで作つもの、守



るもの。やはりそうすね。一人や二人で人権、人権と騒いでもどうにもなるものではない。みんな、みんなが守らなければ、人権という言葉は勿論のこと、人権そのものの意味も薄れてしまうのではないだろうか。僕はそのようなことを強く感じた。

学校で道徳をやってもそれを生かすければ意味がない。人権の講演を聞いても、みんなが守らなければ聞いた意味がなくなる。聞いて、考えて、実行に移してこそ本来の意味があるのではないだろうか……

この作文を書くにあたり、そのことを強く感じた。学校ではどうだろうか、すこし考えをまとめてみたいと思う。学校という社会は、人権が守りやすいよう実には守りにくい所だと思ふ。例えば、すこし勉強ができなかつたりすると馬鹿にされるし、本人自身も馬鹿にされたような気持ちになり、劣等感を持つようになる。また、運動でも同じ事が言われる。人間にとって、痛いところや、苦手なところを、友だちに突かれると大変いやなものである。人間だもの、人間は誰だっ



くらしの知恵

歯みがき三分、水は…

歯みがきの時間は、約三分間で、使う水の量はコップで約三杯だが、みがいている間、うっかり水道を出しっぱなしにしていると約四十二リットルの水がムダになります。

これを親子四人の家族が朝、晩みがかるとして計算すれば、一日で三百三十六リットル、ビールびん約五十四本分の水が流れてしまいます。

一年間ともなると、つもりもつて約百二十七、小・中学校の二十五メートル標準プールに必要な水、三百リットルの四割をまかなう水量になります。

限りある資源を、いつでもどこでも大切に使いましょう。

一人で悩まず相談を

民生委員、児童委員が改選

三年の任期が満了となり、民生委員、児童委員に次の方々が、昨年十二月一日付で、厚生大臣から委嘱を受けました。

民生委員や児童委員は、社会福祉全般にわたり、一人でも多くの人が幸せな生活が営めるよう、指導や助言を行うなど、広範囲な活動を展開しています。

「人権コーナー」

思いやりに応える心



太陽に向かって、朝に礼拝夕べに合掌

私は常に人生は詩的であること、信条と致しております。先祖から受け継がれたこの尊い生命を取り巻く親せき、知人、諸人（特に隣人）はすべて深い因縁と巡り合っており、人権共存の精神を涵養して人々と和し、平和な郷土であることを常に浴し、念願致すものであります。また、人情とは思ひやりに応えることと思ひます

主題の心を詩につづるならば「夕陽は真赤に燃えて、大きく丸い尊崇の姿を地平線に没す、静夜を保ちて応えて、また、日の出の朝を迎える」思うに人生は実に詩的であります。この詩を私ながらの解釈をするならば、何人も職業に勉学に情熱をもつ、諸人手を携えて大きな円陣を描く、角や、刺のな温厚な心で寝に就く、安らかなる眠りから覚める時、朝日は吾々に生存の恩恵を与え給う、思考して、この人生、日々の繰り返しこそ実に意義深きかなと誰しもが頷ける次第であります。

自由人権の思想とは、権利を主張すると同時に、義務履行することによって連帯感に徹する所以で

雪下ろしも 雑損控除の対象に

善意に感謝

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

Table with 4 columns: 住所, 氏名, TEL, and address details for various locations.